

GPS/JIPS 安全性要約書

アクリエステルG(GMA)

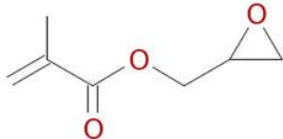
物質名 (SUBSTANCE NAME)

メタクリル酸グリシジル (2,3-epoxypropyl methacrylate, CAS No. 106-91-2)

物質の概要 (GENERAL STATEMENT)

メタクリル酸グリシジルは、かすかなエステル臭の無色透明の液体です。主に産業において、樹脂・ゴム改質剤などに用いられています。製造時や使用時には適切な保護マスク、保護手袋の着用が推奨されています。また、環境への負荷を最小化するために漏洩防止策を講じるとともに、定期的な監視や設備の保守点検が推奨されています。

化学的特性 (CHEMICAL IDENTITY)

項目	内容
一般名	メタクリル酸グリシジル
商品名	アクリエステルG
化学名	2,3-epoxypropyl methacrylate
CAS番号	106-91-2
その他の番号	官報公示整理番号(化審法, 安衛法)(2)-1041 EC番号 203-441-9
分子式	C ₇ H ₁₀ O ₃
構造式	
その他の情報	特になし
出典、備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート

使用・用途と適用 (USES AND APPLICATIONS)

当社製品の主な用途	主に産業において、樹脂・ゴム改質剤等に用いられています。
-----------	------------------------------

物理化学的特性 (PHYSICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

外観(物理的状态)	液体
色	無色透明
臭気	かすかなエステル臭
比重(相対密度)	1.074 (25°C)
融点/沸点	-65 °C/ 189 °C(1,013 hPa)
可燃性/引火性	GHS 引火性液体 区分4:可燃性液体
引火点	83°C(開放式) (HSDB(2006))、97°C(クリーブランド 開放式)
爆発上下限界	下限 1.3 vol%、上限 13.0 vol%
蒸気圧	1,333 Pa、10mm Hg (75°C)
分子量	142.16
水溶解性	2.3g/100g水
オクタノール-水分配係数	LogKow : 0.81
出典・備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート

ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

影響評価	結果 (GHS ^{*1} 危険有害性分類)
急性毒性(経口)	飲み込むと有害(区分4)
急性毒性(吸入-気体)	分類対象外 ^{*2}
(吸入-蒸気)	分類できない ^{*3}
(吸入-粉塵/ミスト)	分類できない
急性毒性(経皮)	皮膚に接触すると有毒(区分3)
皮膚腐食性/刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷(区分1)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	重篤な眼の損傷(区分1)
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分1)
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれの疑い(区分2)
発がん性	分類できない
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い(区分2)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	臓器(呼吸器)の障害(区分1)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(神経系、心血管系、肝臓、腎臓、呼吸器)の障害(区分1)
吸引性呼吸器有害性	分類できない
出典・備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート ^{*1} GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals。世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステム ^{*2} 分類対象外: GHSで定義される物理的性質に該当しないため、当該区分での分類の対象となっていないもの ^{*3} 分類できない: 分類の判断を行うためのデータが全く、または分類するに十分な程

	度に得られなかった場合 *4 区分外: 分類を行うのに十分な情報が得られており、分類を行ってみたいところGHSで規定する危険有害性区分において一番低い区分とする十分な証拠が認められなかった場合
--	---

環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

影響評価	結果 (GHS危険有害性分類)
水生環境有害性(急性)	水生生物に毒性(区分2)
水生環境有害性(慢性)	区分外*4
出典・備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート

環境運命・動態	結果
環境中の移行性	情報なし。
生分解性	分解性が良好と判断される。
生物蓄積性	生物蓄積性は低いと推定される。
PBT/vPvBの結論	PBT*、vPvB**に該当しない。
出典・備考	三菱ケミカル株式会社安全データシート *PBT: Persistent, bioaccumulative and toxic(環境中に残留性し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する) **vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative (環境中に非常に残留性しやすく、非常に高い生物蓄積性を有する)

ばく露 (EXPOSURE)

作業者および消費者、環境へのばく露は、以下の取扱い時におこる可能性がある。

詳細	No.	当社製品の主な用途におけるばく露の可能性
作業者ばく露	1-1	閉鎖系バッチでの合成あるいは調合作業において、メンテナンス、サンプリングおよび装置故障の際等に、作業者への経皮・吸入ばく露の可能性がります。調剤や成形品製造における顕著な接触機会を伴うバッチでの混合・混和作業において、作業者への経皮・吸入ばく露の可能性がります。流出を最小化するように設計された条件での小容量コンテナへの物質や調剤の移し替え作業において、作業者への経皮・吸入ばく露の可能性がります。
消費者ばく露	2-1	本物質を含む消費者製品はありません。
環境ばく露	3-1	産業における物質の製造工程から、主に大気及び水環境へ放出される可能性があります。また合成原料やポリマー原料等、他の物質製造のための中間体として使用され、主に大気及び水環境へ放出される可能性があります。
注意事項		他の用途におけるばく露の可能性がある場合、推奨するリスク管理措置を参考に適切な措置を実施してください。

推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

詳細	No.	当社リスク評価結果に基づく推奨する管理措置
対作業者ばく露	1-1	製造や使用時の作業の際は、適切な保護めがね、保護マスク、保護手袋を着用してください。屋内では局所排気の下、作業してください。作業責任者は、作業者に適切な保護具の選択や正しい使用方法、または作業現場の管理方法等の教育をしてください。当該物質使用時には飲食・喫煙を避けてください。
対消費者ばく露	2-1	本物質を含む消費者製品はありません。
対環境ばく露	3-1	当該物質は主に大気及び水環境へ放出されやすいです。排ガス・処理排水処理施設を設置し、漏洩防止などの対策を講じるとともに、日常管理、取り扱いに注意を払ってください。
その他取扱注意事項		熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけてください。
注意事項		通常での取扱い、緊急時対応、廃棄時、輸送時の管理措置は、安全データシートの4, 5, 6, 7, 8, 13, 14項を参照して下さい。

(注) No.は「ばく露」記載箇所にある、それぞれの「ばく露の可能性」に対する管理措置を記載している。


政府機関のレビュー状況 (STATE AGENCY REVIEW)

有害性評価	レビュー状況
OECD 高生産量化学物質(HPV)	http://webnet.oecd.org/Hpv/UI/handler.axd?id=44d6c34e-1889-4efd-a534-47ae7b2986f5
NITE 化学物質の初期リスク評価書	http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/data/pdf/risk/pdf_hyoukasyo/316riskdoc.pdf http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/data/pdf/hazard/hyokasyo/No-106.pdf http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/data/pdf/risk/pdf_gaiyou/316gaiyou.pdf
環境省 化学物質の環境リスク初期評価	http://www.env.go.jp/chemi/report/h16-01/pdf/chap02/02_2_49.pdf http://www.env.go.jp/chemi/report/h16-01/pdf/chap01/02_3_29.pdf
欧州 REACH 登録情報	http://apps.echa.europa.eu/registered/data/dossiers/DISS-9d8ad66e-d3ab-1710-e044-00144f67d249/DISS-9d8ad66e-d3ab-1710-e044-00144f67d249_DISS-9d8ad66e-d3ab-1710-e044-00144f67d249.html

法規制情報／ラベル情報
(REGULATORY INFORMATION / LABELLING INFORMATION)
法規制情報

法律	規制状況
国連分類	クラス8(腐食性物質) 副次危険6.1(毒物類・毒物)
国連番号	2922
労働安全衛生法	変異原性が認められた化学物質(労働基準局長通達平成5年5月17日付け基発第312号の3(一部改正))
消防法	第4類 第三石油類 非水溶性液体(2000L)
化学物質管理促進法	法第2条第2項、施行令第1条別表第1、第1種指定化学物質 メタクリル酸2,3-エポキシプロピル(政令番号:417)
船舶安全法	危規則第2、3条危険物告示別表第1腐食性物質
航空法	施行規則第194条危険物告示別表第1腐食性物質

ラベル情報

絵表示またはシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可燃性液体 ・ 飲み込むと有害 ・ 皮膚に接触すると有毒 ・ 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 ・ 重篤な眼の損傷 ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ ・ 遺伝性疾患のおそれの疑い ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い ・ 臓器(呼吸器)の障害 ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(神経系、心血管系、肝臓、腎臓、呼吸器)の障害 ・ 水生生物に毒性

連絡先 (CONTACT INFORMATION WITHIN COMPANY)

会社名	三菱ケミカル株式会社
住所	東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル
担当部門・担当者	MMA企画部 技術グループ
電話番号／FAX番号	(03)6748-7540

発行・改訂日 (DATE OF ISSUE / REVISION) その他の情報 (ADDITIONAL INFORMATION)

初版: 2018年12月27日発行

特記事項:なし

免責条項 (DISCLAIMER)

この製品安全性要約書の目的は、対象品の情報を簡単な概要として提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。また、安全データシート(SDS)、または化学品安全性報告書(CSR)などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。また、記載内容は現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。